

実施状況（令和6年度）

令和6年度は、自転車交通安全対策重点推進地域に指定した市町等所在の高等学校計5校において実施し、2,141人の高校生が参加しました。

実施後のアンケート調査では、「自転車の走行をもっと注意しないといけないと感じたか」との間に対し、98.2%の生徒が「とても感じた・少し感じた」と回答しています。

また、「他の学校でも実施すべきと思うか」の問いに対しては 97.8%の生徒が「とても思う・まあまあ思う」と回答しています。

教室を受講した生徒からは、他にも
「自分の行動を見直したい」
「ヘルメットの大事さが分かった」
「交通事故は身近にあるものと思った」
といった声が寄せられています。

【実演状況】

時速 30km/h での衝撃実験



実際にあった事故事例再現



屋内実施の状況



他の主な演目

- ・自転車の乗り方マナー
- ・横断歩道での事故
- ・左折巻き込み事故（対大型車）
- ・大型車の死角実験
- ・電動キックボードの正しい乗り方